

公益財団法人

関西文化学術研究都市推進機構

KANSAI RESEARCH INSTITUTE



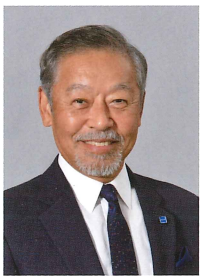
未来をひらく 新文化首都 けいはんな 関西文化学術研究都市



〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7 (けいはんな学研都市) けいはんなプラザラボ棟3階

- 総務企画部・事業推進部 TEL 0774-95-5105 FAX 0774-95-5104
 - 新産業創出交流センター TEL 0774-98-2230 FAX 0774-98-2202
 - 新産業創出会員事業室 TEL 0774-98-2277 FAX 0774-98-2202
- URL <https://www.kri.or.jp/>

ご挨拶



公益財団法人
関西文化学術研究都市推進機構
理事長 堀場 厚

関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)は、関西文化学術研究都市建設促進法制定から30年余りが経過しました。昨年は、けいはんなオープンイノベーションセンターにロボット技術センターがオープンするなど、近年は、企業などの立地や施設の充実が一段と加速しています。ICT分野に加え、医療・バイオ、環境・エネルギーなど、わが国を代表する研究機関、文化施設、オンリーワン企業をはじめ、立地施設数も150を超えました。

国の研究機関などでは様々な分野で基礎研究が進み、例えば、高度な音声認識・翻訳機能を持つ多言語音声翻訳技術は格段に精度・機能が向上し益々使いやすくなっています。また、中赤外線レーザーによって指を置くだけで血糖値が測定できる技術、さらには脳情報科学による精神疾患の診断と治療技術など、実用化に近づきつつあるものも少なくありません。域内人口も着実に増加を続けており、緑豊かな都市景観のなか、文化・学術研究・産業・生活が調和した多様な機能を持つ都市として発展を続けております。

このような中、「けいはんな学研都市『新たな都市創造プラン』」の実現に向け、研究機関・企業の集積や研究成果の蓄積という本都市の強みを最大限に活用し、様々な分野でのイノベーションの創出と持続可能な都市づくりに取り組んでおります。その一つとして、「リサーチコンプレックス推進プログラム」による脳情報科学分野の研究開発とその実証フィールドの構築や国内外のスタートアップとの共同プロジェクトの推進に取り組んでいます。また、当機構のRDMM支援センターでは、民間企業主体による市場ニーズに基づくオープンイノベーションの創出に向け、「けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム」や未来の産業・商品づくりに住民の方々に参加する「Clubけいはんな」を組織化するとともに、ASEANやインド洋周辺の各国とイノベーション連携を進めるAIJプラットフォームの構築など、グローバルなオープンイノベーション拠点の構築を進めております。

けいはんな学研都市が、これまでの「知の集積」をさらに進化させ、イノベーションの創出と、その成果の積極的な発信を図ることで都市としての活力・ブランド力を高め、「持続可能な社会の実現」や2025年大阪・関西万博の成功にも貢献すべく取り組んでまいりますので、関係の皆さまにはご支援をいただきますようお願い申し上げます。